

(様式3)

利益相反自己申告書

岩手医科大学長 殿

論文名：

筆頭著者氏名(自筆署名)：

記載日(西暦)：

年

月

日

標記論文の全著者及び生計を一にする扶養親族の者は、下記①～⑭の経済的利害関係・産学連携活動等の関係をもつ法人等(企業・団体など)の活動について、昨年度及び今後1年分(見込を含む)の状況は下記及び別表(次ページ)に相違ないことを筆頭著者が代表して申告します。

- ① 年間100万円以上の企業、法人組織、団体等からの収入(技術指導等、役員・顧問職含む)
- ② 年間100万円以上の株式による利益(配当、売却益の総和)、株式(新株予約権を含む)を保有(公開株式は5%以上、未公開株式は1株以上、新株予約権は1個以上)
- ③ 年間100万円以上の知的財産権等使用料等
- ④ 年間50万円以上の1つの企業等からの講演料(企業等から会議の出席(発表)に際して、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当(講演料等))
- ⑤ 年間50万円以上の1つの企業等からのパンフレット等の執筆に対して支払った原稿料
- ⑥ 年間200万円以上の1つの企業等が提供する研究費(受託研究費、共同研究費、臨床試験等)
- ⑦ 年間200万円以上の1つの企業等が提供する奨学(奨励)寄附金、⑧ 企業等が提供する寄附講座に申告者らが所属している場合
- ⑨ 融資、保証の受入(銀行などの金融機関以外)、⑩ 受託研究員等の受入、⑪ 法人等への学生又は他の学内教員の関与
- ⑫ 年間100万円以上の1つの企業等が提供する設備及び備品等の供与
- ⑬ 年間100万円を超える物品・設備・システム等購入および業務委託(教育研究のほか、仕様策定や機種選定、物品等導入に携わる場合も対象。また、機器の修理等、役務も含む。)
- ⑭ その他①～⑬以外の経済的利害関係及び産学連携活動に類似した活動の実施

筆頭著者も含めた著者全員の利益相反の状況を申告し、上記の①～⑭に該当する著者は別表1を提出してください(デジタル入力で構いません)。論文修正の際に著者を追加する場合には、再度この申告書を提出してください。

著者氏名	利益相反の状況(①～⑭の該当)		記載日(西暦)
	☐ 該当あり	☐ 該当なし	年 月 日
	☐ 該当あり	☐ 該当なし	年 月 日
	☐ 該当あり	☐ 該当なし	年 月 日
	☐ 該当あり	☐ 該当なし	年 月 日
	☐ 該当あり	☐ 該当なし	年 月 日
	☐ 該当あり	☐ 該当なし	年 月 日
	☐ 該当あり	☐ 該当なし	年 月 日

*この申告書は、PDF化してご提出ください。

別表 1

著者氏名	相手方法人等名 (名称は略さず正 確に記載)	経済的利害関係および産学連携活動等の関係				対象者 (氏名及び著者との関係)
		経済的利害関係・産学連 携活動等の番号 (前ページ①～⑭から選 択)	対象活動の具体的内容	時期または期間	金額(内訳) 保有株数	
例: 矢巾太郎	例) ○○○製薬 株式会社	④	講演謝金として	2022 年 5月2日、8月3日、 9月25日	500,000 円 (3回)	○○○○ (本人)

* この申告書は、PDF 化してご提出ください。